

Title	Learner-centered extensive reading : アクティビティの実践
Author(s)	中川, 英幸
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.1, 2012.9 : 7-14
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=3999
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

Learner-centered extensive reading アクティビティーの実践

中川 英幸

はじめに

多くの英語学習者が近年TOEICテストを受験しているが、そこでよく耳にするのはリーディングセクションでの点数の伸び悩みである。リスニングセクションのスコアと比べると、多くの受験者がリーディングセクションでの点数が低い傾向にある。語学専門学校である神田外語学院で、スコア向上を目指す学生28名のTOEIC平均スコアを調査した結果も同じであった。このクラスのTOEICテスト2回分の平均スコアは569.5点で、リスニングセクションの平均点は322点、一方リーディングセクションは247.5点であった。また28名全員がリスニングセクションのほうが良い点数を獲得していた。この結果をふまえて、なぜリーディングセクションで点数を取るのが難しいのか学生にアンケートを答えてもらった（付録A参照）。このクラスでは、28名中24名がリーディングセクションを難しいと思っていた。リーディングセクションを難しいと感じていた学生が多く答えた回答は、ボキャブラリーの難しさであった。その次に多くの学生が、リーディングセクションは問題数が多く、試験時間内に全て読み終わらないというものであった。またリーディングセクションで取り扱うジャンルが、広告からビジネスライター、新聞記事までかなり幅広いので、読むのが大変だという答えもあった。このアンケート結果から読み取れたもう一つ興味深い点は、リーディングを苦手と感じている24名中19名の学生が、授業教材以外は全く英文を読まない、あるいは授業の予習・復習以外に自習としてリーディングを行っていない点であった。そこでリーディングへの苦手意識をなくしてもらうために、extensive reading（多読）の勧めを学生にした。ただし強制的にextensive readingを行うと、学生がリーディング

そのものに嫌悪感を抱いてしまう恐れがあるので、少しでも学習者が自主的（learner-centered）に行えるようなextensive readingを勧めた。そこでこのクラスには、learner-centered extensive reading（学習者が主体となって行う多読）を自宅学習として実践してもらった。このリサーチでは、learner-centered extensive readingという言葉を定義し、どのように実際学生達に行ってもらったのかを示したいと思う。またlearner-centered extensive readingの学習効果を、学期末に行った学生アンケートの結果を用いて示したいと思う。そのアンケートを行う際に、3つのリサーチクエッションを掲げてみた。

1. Learner-centered extensive readingは、学習者のリーディング能力を伸ばすのに役立つのか？
2. Learner-centered extensive readingは、TOEICテストでのリーディングセクションの点数向上に役立つのか？
3. Learner-centered extensive readingは、学習者が楽しく多読を続け、リーディングの習慣を身につけるのに役立つのか？

Learner-centered extensive readingとは？

Learner-centered extensive readingという言葉は、learner-centeredとextensive readingという2つの概念からできあがっている。まずlearner-centeredという言葉を実義すると、学習者が主体となり学習者自身が教材や課題を選び、学習者のベース、学習スタイルでそれらを学習していく。その結果、学習者のモチベーションが上がり、学習者の自律学習の習慣付けに役立つ（ブラウン、2001）。チューダー（1993）は、学習者が学習するトピックを学習者自身で選ぶことによって、より多くの

事を学べると述べている。ニューナン（1999）も学習者自身がこれから学習するトピックを学習者自身で選ぶことによって、何を学習するべきなのかより深く理解できると言っている。一方 extensive readingとは、文章の構造や文法にとらわれることなく、文章の大意を理解しながらより多くの英文を多読する（スーザー&ロブ、1990）。また多くの文献を読むことになるので、必然的に学習者は様々なジャンルのオーセンティックな英文を読むことができる（バンフォード&デイ、1998）。クラッシュン（1993）は、多くの英文を読むことによって学習者は語彙をより多く習得できると述べている。バンフォードとデイ（1998）は、学習者が読みたい本や記事を学習者自身で選び、それらを多読することにより、リーディングから知識を得る喜びを学習者が感じることができると主張している。これらの理論をもとに、learner-centered extensive readingなる語ができあがった。すなわちlearner-centered extensive readingとは、学習者がまず勉強したいトピックを選び、そのトピックが取り扱われている本、記事を自分たちで探し、出来るだけ多くの本や記事を読み進めながらそのトピックに関する知識を深め、最終的には学習者のリーディング能力やボキャブラリー知識の向上につながるアクティビティである。そしてこれらの作業を通じ、学習者が自律学習の習慣を身につけるアクティビティでもある。

Learner-centered extensive readingの導入

Learner-centered extensive readingを導入したクラスは、語学専門学校である神田外語学院通訳コースを選択している2年生のクラスである。このコースのレベルは、AからDまで分かれており、1年時に受験した2回分のTOEICテスト平均点と通常授業の成績でクラスレベルが決まる。Learner-centered extensive readingを採用したクラスは、中級レベルであるBクラスである。通訳

コースのカリキュラムは、週2時限（1時限=90分）ずつある日本語教員による通訳演習クラスとネイティブ教員によるコミュニケーションクラスを中心に、週1回のリーディング演習クラスがある。Learner-centered extensive readingを導入したクラスは、リーディング演習クラスである。このクラスを受講している学生は33名だが、1年時にTOEICテストを2回受験し、学年の最初と最後に行ったアンケートに答えた26名の学生がリサーチの対象である。

前述のアンケートを最初の授業日に行った。このアンケート結果で一番驚いたのは、リーディングが苦手だと感じながらも授業以外では全く英文リーディングを行っていない学生が19名もいたことだ。これらの学生は、週1回90分のリーディング授業があるのみで、それ以外はリーディングを全く行っていない。通常授業ではスキミングやパラグラフ・リーディングといったリーディング・ストラテジーを学習した後、文章構造、文法、語彙を分析しながら読み進める精読主体の授業である。ペースとしては1週間に1トピック程度、市販の教材を使い学習していく。教材はPearson Longman社から市販されている「More Reading Power」を使用した。この授業は通年であるので、1年間におよそ25前後のトピックを学生は読んでいく。ただしこれだけでは絶対的なリーディングの量が不足し、学生達のリーディングに対する苦手意識も消えないので、extensive readingを自宅学習課題として導入してみようと思った。ピノシルバ（1992）もEFL環境では、extensive readingによってリーディングの絶対量を増やすことが読解力の向上につながると述べている。また学生がアンケートで答えた「TOEICテストのリーディングセクションでは時間がなくて全ての問題を読み終わらない」、「様々なジャンルの英文が扱われていて読むのが難しい」という意見にも着目してみた。バンフォードとデイ（1998）は、extensive readingを続けることによって学習者の

リーディング速度も速くなると主張している。また上で述べたように、extensive readingを行うことにより、学習者が様々なジャンルの英文に読み慣れることができるとも述べている。以上の理由から、学生達のリーディングに対する苦手意識をなくすために自宅学習課題としてextensive readingを導入し、リサーチを行ってみようと思った。

Extensive readingを実際に導入する際、出版社から販売されているgraded readers（レベル別リーディング教本）を使用する学校もあるが、バンフォードとデイ（1998）は、学習者が読解教材を自分たちで選び、自分たちのペースで読み進めていく方がリーディングの楽しみを実感できると述べている。このことから、教員がリーディング教材を選んで行うextensive readingではなく、あえてlearner-centered extensive readingを導入することにした。

Learner-centered extensive readingの実践

Learner-centered extensive readingを実践するにあたり、教材選びを全て学生任せにしてしまうと教材としての妥当性などで問題が起きる可能性があるため、いくつかの縛りを設けた。まず選ぶ教材だが、学校の図書館に置いてある英字新聞（Asahi Weekly、Daily Yomiuri、Japan Times、New York Times、USA Today、Wall Street Journal、）や雑誌（Newsweek、Time、The Economist、週間ST）、本からトピックを見つけてもらうことにした。ペースとしては1週間に最低1トピック好きな題材を見つけて読み、それにリーディング・ログ（付録B参照）を書いてもらった。そして最後にその記事に関する要約を日本語で200字から400字でまとめてもらった。トピックに関しても、政治、経済、国際関係、歴史、文化、スポーツ、生活といった新聞にあるセクションの中から好きなものを選べるが、同じトピックだけを読み続けると内容やボキャブラリーに偏りが生じるので、2回連続で同じトピックを

選ばないようにしてもらった。それらのトピックを読み進める際には、構文や文法、分からない語を辞書で調べながら全訳していくのではなく、授業で学習したスキミング、スキニング技法を用いてなるべく速読を心がけるようにしてもらった。1つのトピックを読み終えるのに大体どれ位の時間が掛かったのかも記録してもらった。各学期末にリーディング・ログと要約を提出してもらい、成績の一部として採点した。採点ではリーディング・ログと要約を前期・後期それぞれ最低15回分（1トピック×15週）提出してもらい、それ以上提出した学生にはエクストラポイントして加点した。授業の評価方法としては、この課題以外に定期試験、授業で学習したボキャブラリーに関する小テスト（1学期3回分）、授業態度で成績を付けた。それぞれの配点は、learner-centered extensive readingに関する課題が20%、小テストが30%、定期試験が40%、授業態度10%の割合で採点を行った。

Learner-centered extensive readingに関するアンケートの実施

1年間learner-centered extensive readingを行ってもらった後期授業の最後日にアンケートを学生に答えてもらった（付録C参照）。内容は、learner-centered extensive readingを1年間続けてリーディング能力が伸びたかどうかやTOEICテストでのリーディングセクションの点数が伸びたか、あるいはlearner-centered extensive readingが学生の自律学習の習慣付けに役立ったかを聞いてみた。このアンケートには、当日授業を欠席した学生を除く26名が答えた。アンケートのQ1からQ6までは、5段階のリッカートスケール形式で答えてもらい、Q7からQ10までは記述形式で答えてもらった。

アンケートの結果の考察

まずアンケートで尋ねたQ1からQ6までの質問と、学生からの回答の平均値を以下に示す。

アンケートの質問

Q 1 : Extensive readingは、リーディング能力を伸ばすのに役立った。
Q 2 : Extensive readingを続けたので、TOEICテストでのリーディングセクションの点数が伸びた。
Q 3 : Extensive readingを自宅学習課題としてやる意味があった。
Q 4 : Extensive readingを続けてみて楽しかった。
Q 5 : Extensive readingを行って、授業以外でのリーディングの時間が増えた
Q 6 : Extensive readingを自宅学習課題として、これからもやり続けたいと思う。

学生による回答の平均値とSD

Question #	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6
Mean	3.15	2.42	3.19	3.23	3.35	3.15
SD	0.83	0.86	0.89	0.86	0.75	0.92

学生からのアンケートを集計して分ったことは、学生がlearner-centered extensive readingを続けたことによりリーディング能力が伸びたとはあまり実感できていないということだ。リーディング能力が伸びたかどうか尋ねたQ 1でのリッカートスケール平均は3.15であり、learner-centered extensive readingをやる意味があるか尋ねたQ 3の平均も3.19だった。またTOEICテストでの点数アップに役立ったかどうか尋ねたQ 2の平均は2.42だった。これらの結果から、多くの学生は残念ながらあまりlearner-centered extensive readingの効果を感じていなかった。ただQ 1で「そう思う」を選んだ学生は11名、またQ 3でも12名の学生が「そう思う」を選んでいて、リッカートスケール平均ではあまり高い数値ではなかったが、数では一番多くの学生がQ 1とQ 3で「そう思う」を選んでいて、Learner-centered extensive readingは、全学生にはではないが、この学習スタイルが合っていると思った学生には、リーディング能力の向上に役立ったと言えるかもしれない。

Q 1とQ 3で「そう思う」と答えた学生のうち

8名がQ 7のlearner-centered extensive readingのアクティビティーで、一番伸びたと思うものにボキャブラリー知識の向上をあげていた。またクラス全体でも半数以上の15名の学生がボキャブラリー知識の向上をあげていた。この結果から、learner-centered extensive readingは、クラッシュン（1993）が述べているように、学生のボキャブラリー知識の向上には役立ったと推測できる。

ただ一番残念だったことは、learner-centered extensive readingを行うことによってTOEICテストのリーディングセクションでの点数アップには直接的に結び付かなかったことだ。Q 2の質問には、半数以上の14名の学生が「どちらでもない」、「そうは思わない」、「全くそう思わない」と答えていた。リッカートスケール平均も3.0を下回っているので、直接的には点数向上には役立っていないと言える。2年時の最後にこのクラスの学生が受験したTOEICテストでも、ほとんどの学生が総合スコアを上げたが（平均597.5点）、どの学生もリスニングセクションの方がより多くの点数を獲得していた（リスニングセクション平均335.5点、リーディングセクション平均262点）。残念ながらlearner-centered extensive readingは、TOEICテストのリーディングセクションでのスコア向上に貢献できなかった。

Learner-centered extensive readingを続けてみて授業時間以外でのリーディング時間が増えたかという質問を検証してみると、Q 5で13名の学生が「そう思う」を選んでいて、リッカートスケール平均でも3.35と、他の平均より上回った。しかし学生はリーディング量と時間が増えた実感できたが、ピノシルバ（1992）が述べていたような、extensive readingの時間を増やすことにより学習者のリーディング能力の向上につながるという結果は導けなかった。

またlearner-centered extensive readingが、自律学習の習慣付けに役立つかという質問を検証してみると、Q 6の回答はリッカートスケール平均で

は3.15とあまり高いものではなかったが、およそ半分の12名の学生が「Extensive readingを自宅学習としてこれからも続けていきたいと思う」を選んでいった。これらの学生は、Q3でも「learner-centered extensive readingを課題としてやる意味があった」、Q4でも「learner-centered extensive readingは楽しかった」と答えていた。このことから、全ての学生ではないが、learner-centered extensive readingが楽しいと思えた学生には、このアクティビティーが自律学習の動機付けとなり、これからも続けていきたいと思わせたようだ。

最後に記述回答式の質問であるQ7の回答を検証すると、3名の学生が「読むスピードが多少早くなったのが実感できた」と答えていた。学生が読む題材の長さがそれぞれ違うので、客観的にどれくらい時間が短縮されたのかは比較できないが、バンフォードとデイ（1998）が述べたように、この3名の学生にとっては、読解に掛かる時間が短くなったと実感できたようである。またこれらの学生はQ1でも「そう思う」を選んでいたので、少しでも早く英文を読めるようになる＝リーディング能力の向上と考えていたのかもしれない。同じくQ7の回答では、2名の学生が「新聞や雑誌の様々な記事を自分たちのペースでたくさん読めたので、海外のニュースや時事英語で使われている表現、ボキャブラリーを勉強できて良かった」と答えていた。この2名の学生はQ4でも「そう思う」を選んでいったことから、バンフォードとデイ（1998）が述べていたように、様々なジャンルの英文を自分たちのペースで多読することによって、リーディングの楽しみを実感できたと推測できる。

一方Q8では3名の学生が、「記事を見つけるのが難しかったので、このアクティビティーは時間が掛かり、あまり役に立たなかった」と答えている。これらの学生はQ1、Q3、Q4、Q6でも「そうは思わない」か「全くそう思わない」を選択していた。彼らには、learner-centered

extensive readingはただ単に時間の掛かる面倒な学期末の課題としか考えていなかったようである。今回のように学期末に提出してもらう課題の1つとしてlearner-centered extensive readingを導入すると、学生にはリーディングが大変な作業であり、つまらないものだと余計思わせてしまう可能性がある。それを防ぐためにも、learner-centered extensive readingを行う前に、きちんとこのアクティビティーを行う意味（＝リーディング能力の向上と自律学習の習慣の確立）を学生たちに確認してもらう必要があった。

結論

今回のリサーチは、learner-centered extensive readingを続けることが学生のリーディング能力向上やTOEICリーディングセクションの点数向上にすぐには結び付かないという結果になった。しかしlearner-centered extensive readingは、学生に授業以外でリーディングをする機会を与え、その機会が自律学習の動機付けになるかもしれないというアンケート結果も示した。英語を学習することにおいて一番大切なことは、学習を続けることが楽しいと思いながら、学習者が自分たちで学習を行っていくことである。また今回のリサーチでは、多くの学生がボキャブラリー知識の向上にlearner-centered extensive readingが役立ったと答えた。TOEICテストでは、リーディングセクションでのボキャブラリーの難しさを多くの学生が指摘している。そのためlearner-centered extensive readingを続けていくことは、この苦手意識の克服に将来的に役立つ可能性がある。Learner-centered extensive readingを課題として導入するには、まだいくつかの困難もあるが、このアクティビティーが学生に自律学習のきっかけを与え、彼らのボキャブラリー知識向上に役立つ可能性があるため、今後もlearner-centered extensive readingの実践を、リーディングを苦手としている学生に勧めていこうと思う。

参考文献

- Bamford, J. & Day, R. (1998). *Extensive reading in the second language classroom*. New York, NY: Cambridge University Press.
- Brown, H.D. (2001). *Teaching by principles* (2nd ed.). White Plains, NY: Pearson Longman.
- Krashen, S. (1993). *The power of reading*. Englewood, CO: Libraries Unlimited.
- Nunan, D. (1999). *Second Language Teaching & Learning*. Boston, MA: Heinle & Heinle Publishers.
- Pino-Silva, J. (1992, April). Extensive reading: No pain, no gain? *English Teaching Forum*, 30 (2), 48-9.
- Susser, B. & Robb, T. N. (1990, November). EFL extensive reading instructions: Research and procedure. *JALT Journal*, 12 (2), 161-85.
- Tudor, I. (1993). Teacher roles in the learner-centered classroom. *ELT Journal*, 47 (1), 22-41.

(付録A)

TOEICリーディングセクションに関するアンケート

Q1. リーディングセクションを難しいと思いますか？

5 4 3 2 1
(強くそう思う) (そう思う) (どちらでもない) (そう思わない) (全くそう思わない)

Q2. なぜリーディングセクションが難しいと思いますか？

- a. ボキャブラリーが難しいので理解できない
- b. リーディングセクションの問題数が多いので、時間的に最後まで読めない
- c. リーディングセクションの問題数が多いので、集中して読めない
- d. 様々なジャンルの英文が出題されるので、読むのが難しい
- e. 英文の背景 (ビジネスシチュエーション) 知識がないので、読むのが難しい
- f. 英文の構造が難しいので理解できない
- g. 英文の文法が難しいので理解できない。
- h. その他の理由で理解できない

Q3. 上に理由がない場合、なぜリーディングセクションが難しいと思うか自由に書きなさい。

Q4. 授業教材以外にどれくらいの英文の本を1学期中に読みますか？

- a. 0冊 b. 1～5冊 c. 6～10冊 d. 11～20冊 e. 20冊以上

Q5. 授業教材以外にどのようなジャンルの英文を読みますか？

- a. 物語・小説 b. 新聞・雑誌 c. 手紙・email
d. 広告・標識 e. インターネット・その他 f. 何も読まない

Q6. 授業以外に自習として週にどれくらい英語の文章を読みますか？

- a. 30分～1時間 b. 1時間～2時間 c. 2時間～3時間

- d. 3 時間以上 e. 全く読まない

(付録B)

Class: Reading & Vocabulary II

Name:

Reading Log

1. What is your topic ?
2. Why did you choose the topic and this article/book ?
3. Write down the name of your resource(s)(newspaper / magazine / book) and the date when the article/ book is published.
4. What did you learn from the article/book ?
5. Write down your opinion or comments on the article/book.
6. Briefly summarize the article/book in Japanese (200～400 letters).

(付録C)

Extensive readingのアクティビティーに関するアンケート

Q 1 : Extensive readingは、リーディング能力を伸ばすのに役立った。

5	4	3	2	1
(強くそう思う)	(そう思う)	(どちらでもない)	(そうは思わない)	(全くそう思わない)

Q 2 : Extensive readingを続けたので、TOEICテストでのリーディングセクションの点数が伸びた。

5	4	3	2	1
(強くそう思う)	(そう思う)	(どちらでもない)	(そうは思わない)	(全くそう思わない)

Q 3 : Extensive readingを自宅学習課題としてやる意味があった。

5	4	3	2	1
(強くそう思う)	(そう思う)	(どちらでもない)	(そうは思わない)	(全くそう思わない)

Q 4 : Extensive readingを続けてみて楽しかった。

5	4	3	2	1
(強くそう思う)	(そう思う)	(どちらでもない)	(そうは思わない)	(全くそう思わない)

Q 5 : Extensive readingを行って、授業以外でのリーディングの時間が増えた。

5	4	3	2	1
(強くそう思う)	(そう思う)	(どちらでもない)	(そうは思わない)	(全くそう思わない)

Q 6 : Extensive readingを自宅学習課題として、これからもやり続けたいと思う。

5 4 3 2 1
(強くそう思う) (そう思う) (どちらでもない) (そうは思わない) (全くそう思わない)

Q 7 : Extensive readingを続けてみて、一番伸びたと思うものは何か？

- a. Reading能力 b. ボキャブラリー量 c. 速読能力
c. TOEICテストに対する対応力 d. その他 e. 何もしない

Q 8 : Extensive readingを行ってみて、一番楽しいと思ったことは何か？

Q 9 : Extensive readingを行ってみて、一番難しいと思ったことは何か？

Q10: その他このクラスへのコメント、リクエストがあればどうぞ。

(なかがわ・ひでゆき 聖学院大学非常勤講師)